



中小企業の為の経営のヒント

菅原会計事務所通信

2012年5月号

菅原会計事務所・菅原行政書士事務所

三重県鈴鹿市西条 5-40-1

TEL 059-382-5055 FAX059-382-5009

HP:「菅原会計」検索!

『会社を倒産させないこと』

～社長の一番大事な仕事～

[資金繰りに責任を持つこと]

社長の一番大事な仕事は、会社を倒産させないことです。ほとんどの会社が、金融機関から借り入れをしていると思いますが、今は良好な関係が築けているとしても、金融機関は業績が悪くなるとあっさり融資を止めるのが現実です。金融機関の担当者が何とかしたいと思っても、上司や本部はOKしないケースがあります。

最低限の備えとして、月商1か月分（理想は3か月分）以上の現預金を持っておく必要があります。そうすれば1か月分の売掛金の入金がなくともなんとかやっていけるからです。

[資金調達をスムーズにする方法]

資金繰り対策を考えたときに、まず、金融機関からの借り入れが考えられます。金融機関からの資金調達をスムーズにするためには、前もって必要な段取りをしておくことです。

1) 直近の決算書を準備しましょう

金融機関による審査のとき、決算書の審査が大きなウェイトを占めます。

①「利益が黒字であること

②「債務超過でないこと

過度な節税対策で赤字にしたり、利益を少なくしている会社がありますが、資金調達には不利になることを知ってください。

また、直近の試算表も必要です。毎月きちんと帳面をつけてください。

2) 経営計画、特に資金繰り計画表を作成しましょう

資金繰り計画表を作成している会社には、金融機関は安心して貸しやすいです。

3) 納税はしっかりしておきましょう

税金の滞納は資金調達の致命傷になります。法人税、道府県民税、消費税、源泉所得税等の納税はしっかりしておきましょう。融資のときには、納税証明書が必要です。

